

教 科	農業科	単位数	2 単位	学科・学年・コース	環境科学科・3年・森林コース
使用教科書	森林科学	実教7農業308	副教材等	自作プリント	

1 学習の到達目標

森林の育成・保全と利用に必要な基礎知識と技術を身に付け、森林生態系と林木の生育特性を理解したうえで、森林を総合的に利用する能力と態度を養います。

2 学習の計画

月	単元名	使用教科書項目	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	評価方法
4 ～ 6 月	森林の保育 と山地の保 全	1 森林の保育	・森林保護について多面的に学びます。	ノート 実習観察 実技 レポート テスト 他
			・下刈り、除伐、間伐等の意味や適切な時期などを学びます。	
7 ～ 9 月	森林の保育 と山地の保 全	2 森林の保護	・除伐、枝打ち、間伐などの実践的な技術を身に付けます。	
			・林木の適切な管理や間伐（選木）方法について学びます。	
10 ～ 11 月	木材の生産	1 林木の伐採	・林木の成長に深く関係する林地の維持や改善方法について学びます。	
			・気象災害や生物災害などと森林保護の関係を学び、森林を保護するために必要な知識を身に付けます。 ・日本や世界で起こっている森林破壊や森林被害について学びます。	
12 ～ 3 月	木材の生産	1 林木の伐採	・伐採計画の立て方、伐採方法、伐採安全作業について学びます。 ・チェーンソーを安全使用について学びます。 ・伐採木や伐倒方向などの技術を学びます。	
			・山割の重要性や高性能林業機械作業システムについて学びます。	
			・伐採を巡る問題について概要を学びます。 ・伐採作業計画の立て方について、高性能林業機械の利用と安全確保について学びます。	

3 評価の観点・方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	自然や樹木の生育を細かく観察する意欲を持っている。
思考・判断・表現	自然の中の事象の原因や理由について考えることができる。
技能	学習内容を自然界の中で合致させ、まとめる事ができる。
知識・理解	学んだことを知識として蓄積し、さらに応用する事ができる。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・授業ノート ・実験実習レポート ・観察記録 ・ノートやファイル ・課題レポート

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

4 特に強調しておきたい点（留意すべき点・学ぶことによって得られること）

- ・実習では常に「安全」に留意し、怪我・災害の防止に努めること。
- ・近くの森林にも積極的に出かけ、常に自然に親しんで観察する姿勢を持てること。
- ・森林や樹木についての社会的な出来事にも関心を持てること。
- ・観察記録や実験実習のレポートを作成する力を身に付け、期日までに提出すること。

